

I. 里親及び申込者のための研修と里親子のための親睦活動

【養子を育てたい夫婦のための連続講座】

申込者の高齢化が進み、初回来所から委託までの期間が短くならざるを得ないので、委託前にはできるだけ講座を受講するよう勧めている。平成28年6月より大阪府養子里親支援機関事業を受託し、認定前研修として位置づけられたことから、従来より回数を増やし、年4回実施している。

講座は、連続3回で土曜日13時30分から17時30分（最終回は18時）。のべ75組（実数63組）の受講者のうち、養親候補者として推薦したのは9組、調査検討中5組である。昨年度以前に受講し、今年度推薦したのは8組である。児童相談所から勧められて講座を受講し、その後、地元の児童相談所や民間団体からの紹介で子どもを受託している夫婦も増えている。

		第85回	第86回	第87回	第88回
日時		6/3, 10, 17	9/2, 9, 16	12/2, 9, 16	3/3, 10, 17
場所		大阪市立社会福祉センター会議室			
内容	1 グループセッション	参加者と職員とのワーク			
	2 「養子里親の体験談」から	Y夫妻	K夫妻	T夫妻	N夫妻
	3 「養子を育てること」とは…	岩崎 美枝子			
	参加者	17組	19組	21組	18組
	オブザーバー参加者	7名	2名	6名	1名

*認定前研修追加分として

2月17日(土)13:00～16:00 「子どもに起こりやすい事故の予防と応急手当」

講師：日本赤十字社大阪支部 小山氏 参加者：28組

【養親ゼミナール】

昨年度より、養親を対象にした研修を隔月で実施した。養親の関心の高いテーマとして、下記のテーマを取り上げた。昨年度とは違うテーマも盛り込み、好評だった。

- ① 5月20日(土)13:00～16:00 「『真実告知』から『ルーツを探す』」
(養親22名、希望者1名、関係機関3名)
- ② 7月22日(土)13:00～16:00 「思春期」(養親16名、希望者4名、関係機関3名)
- ③ 10月21日(土)11:00～16:00 「小学生ってどんな時期？一親にできること」
(養親20名、希望者2名、関係機関4名)
- ④ 3月17日(土)10:00～12:00 「成長した子どもからのメッセージ」
体験発表：京都府Jさん(25歳・男性)(養親25名、希望者7名、関係機関5名)

【里親子の親睦を深めるための活動】

(1)ふれあいキャンプ 8月22～24日 (於：YMCA阿南国際海洋センター(徳島県阿南市))

「海のキャンプ」ではずっと利用させてもらっている施設である。オーシャンスイム、一人乗りカヤック、ジャンボカヌーなど、海洋プログラムを満喫できた。小学生から高校生までの子ども18名のうち、中高生が8名という大きい子どもの多いキャンプとなった。成長した養子たちが、サブリーダーとして参加してくれている。中高生同士で話し合ったりする場面も持て、同じ立場での分かち合いもあったようである。今年も、公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団、大阪南YMCAのご支援を受けておこなっている。

(参加：子ども18名、大阪南YMCAスタッフ5名、サブリーダー4名、協会職員5名)

(2)第19回 おやこDEうんどう会 11月3日(祝) (於：大阪市立長居小学校)

協会を通じて子どもを迎えた養親家庭、大阪市の養育里親、大阪府の登録里親、施設に案内を出して

いる。当日参加して取り組めるような幼児、小学生、親子競技を企画している。27年度から有志で協力してくださっていた第一工芸株式会社が後援となり、会社として取り組んでいただき、競技も3種目、企画、準備、当日の進行を担当、また、参加者への景品、飲み物も提供いただいた。当日の運営ボランティアとしても11名の社員さんの参加があった。成長した養子などを含む15名のボランティアさんにもご協力いただいた。

(参加：46家庭(141名)、3施設(16名)、ボランティア26名、来賓3名)

(3) JBクラブ

養(里)子を養育中の母親(父親)が、子ども連れで集える「ひろば」の開催を平成18年度より継続。月に1回(10:30~15:00)、主に就園前の幼児を養育中の養(里)親家庭が参加してくれているが、夏休みやクリスマス会は就園児の参加も多い。養母同士のつながりも密になっており、親しく会話を交わす様子がみられる。公益財団法人大阪コミュニティ財団ふれあい基金のご支援を受けておこなっている。27年度までは、愛の手を通じて子どもを迎えた家庭に案内をしていたが、大阪府養子親支援機関となったため、大阪府内の養親家庭にも参加を呼びかけている。毎月1回、計12回開催し、参加者はのべ89家庭。29年度は前年よりは参加者が増えている。

【児童相談所里親担当者会議の開催】

大阪府・市の子どもを委託したことのある児童相談所を中心に広く呼びかけての里親担当者会議は、今年で29回目となった。例年通り2日間の日程を組み、1日目を研修会、2日目を学習会とした。また、1日目の夜には交流会をおこなった。会場の都合により、年度末の日程になったところ、多忙で参加できないという児童相談所もあったため、開催時期については検討していく。

日 時	3月1日(木) 研修会 13時30分~17時30分 / 交流会 18時30分~20時30分 3月2日(金) 学習会 9時30分~12時
場 所	大阪市立社会福祉センター
内 容	1日目 1. 「子どもを養子に出すことを考える実母へのケースワークとは ~愛染橋病院の実践をもとに~」 講師：上原 玲氏(石井記念愛染園附属愛染橋病院医療福祉相談室室長) 2. 各所報告「新生児委託の実情と課題」 2日目 「真実告知について~アンケート調査から~」講師：山上有紀、中島悦子
参加児相	埼玉県中央、埼玉県熊谷、さいたま市、東京都児童相談、横浜市中心、横浜市北部、横浜市南部、長野県松本、福井県総合福祉、静岡市、浜松市、愛知県東三河、愛知県西三河、三重県児童相談、京都府宇治、奈良県中央、奈良県高田、和歌山県子ども・女性・障害者、兵庫県中央、兵庫県川西、岡山市、広島県東部、徳島県中央、大阪府中央、池田、吹田、東大阪、富田林、堺市、大阪市 1日目 30児相(36名) 2日目 28児相(32名)

II. 里親制度に関する広報活動

【機関紙・誌の発行】

(1) 月刊紙「あたらしいふれあい」の発行

大阪府共同募金会NHK歳末助け合い配分金をいただき、継続して発行できている。毎月3,500部を印刷し、約3,000部発送。表紙のカット、発送作業のすべてにボランティアの協力を得て、毎月の発行を継続している。

(2) 年刊誌「育てる」の発行

No.54を大阪・神戸事務所あわせて3,550部発行。大阪事務所では、会員、里親、関係機関等に1,850部送付している。

【一般向けチラシ・冊子等の作成】

(1) 協会リーフレット(増刷)：3,000部

(2)大阪府養子里親支援機関リーフレット：15,000部

【愛の手街頭キャンペーン】

里親制度や協会活動のための街頭キャンペーンには、平成6年度から大阪曾根崎ライオンズクラブのご支援を得ている。この活動はクラブの奉仕活動として位置づけ、取り組んでいただいている。

5月18日に梅田HEP FIVE前、10月5日に阪急百貨店うめだ本店南西側と大阪駅前西側交差点で実施。協会活動の趣意書をつけた玩具（各1,000個ずつ）を大阪曾根崎ライオンズクラブのメンバーとともに通行人に配布し、里親制度及び協会活動の広報をおこなった。玩具の購入および、チラシ付けも大阪曾根崎ライオンズクラブのメンバーがおこなってくださった。5、10月ともに、多くの人に手にとってもらえた。

【里親いろいろ応援団】

大阪市里親施策推進プロジェクト会議の活動の一環で、平成21年度より市民ボランティア「里親いろいろ応援団」として活動、協会が事務局となって活動をおこなっている。毎月定例会を開催しているが、平成24年度より大阪市管の施設の里親支援専門相談員も定例会に参加している。

毎月11日	イオン鶴見緑地店にて「イエローレシートキャンペーン」に参加。買い物客がレジ精算時に受け取った黄色レシートを応援したい団体の投函BOXへ入れると、購入金額合計の1%が希望する品物で寄贈されるしくみ。毎回、応援団員が里親制度に関するチラシや風船をセットにしたもの200部あまりを配布している。29年度は30,000円分の寄贈があり、イベント時に使用する備品を購入した。
8月17日(木)	あべのハルカス近鉄本店 縁活プロジェクト「里親(さとおや)ってなあに」8階街ステーションにて、おはなし会、紙芝居、マジック、Q&Aによる里親制度の説明を行った。
12月14日(木)	あべのハルカス近鉄本店 縁活プロジェクト「里親(さとおや)ってなあに？」5年目を迎えたイベントである。バルーンアート、リコーダー演奏、コーラスを行い、参加者にはクリスマスツリーの作製に参加してもらった。
1月27日(土)	里親啓発イベント「来て、見て、聞いて 知ってください里親制度」住吉区民センター小ホール13:30~16:30(参加128名) 第1部は女声コーラス「母にささげる詩~親子だもん」合唱から始まり、「美☆ダンサープロジェクト」の社交ダンス、「カウジ マーベリック」のHIPHOPダンス、シンガーソングライター大山太徳さんのミニライブ、第2部は関西芸術座「おかえり！」の上演、里親制度の説明、真実告知の体験談朗読をおこなった。

その他、大阪市里親施策推進プロジェクト会議にもオブザーバー参加している。

【一般向けの広報】

日本財団から、助成金をいただき、一般市民向けの広報活動をおこなうことができた。

(1)電車への広告掲載

29年12月13日取り付け~27日撤収 JR環状線女性専用車両に車内全面広告をおこなった。

(2)情報誌等への広告掲載

新聞折り込みタウン誌「ウーマンライフ」東大阪版(3月9日) 15万部配布
同「ウーマンライフ」守口・門真・寝屋川版(3月17日、30年4月7日) 10万部配布
同「ウーマンライフ」八尾版(3月23日) 15万部配布

【毎日新聞その他による報道記事】

H29.5.19 「『言葉慣れて』 大阪・北区で訴え」(毎日)
5.30 「『さらに貢献』 天王寺で年次総会」(毎日)
7.25 「サヘルさんが来月6日、中央区で 家庭養護促進協と府が主催」(毎日)
10.6 「もっと知って 家庭養護促進協など梅田でPR」(毎日)
11.19、11.25、12.2 「あなたの愛の手を チャリティー紙上オークション」(毎日)

- 12. 15 「里親制度伝えるクリスマスコン あべのハルカスで」(毎日)
- H30. 1. 10 「福あめ買って愛の手を 今宮戎参道で家庭養護促進協会」(毎日)
- 1. 24 「150万4412円を寄託 出品48企業・個人 広がる善意」(毎日)
- 1. 25 「里親制度 演劇で紹介 27日・住吉区」(毎日)
- 1. 30 「里親制度に理解を 親子の心情披露 住吉 演劇や体験談」(大阪日日)
- 3. 8 「週末里親制度 10日に説明会」(毎日)

【各地・各団体での講演会等で講師として活動の紹介等をした】

- H29. 5. 21 臨床心理学会神奈川県支部にて講演(岩崎)
- 6. 15 耳原総合病院異文化コミュニケーションカンファレンスで講演(山上)
- 6. 21 第一工芸株式会社へ出前講座(山上・中島)
- 7. 1 関東甲信越ブロック里親研究協議会さいたま市大会分科会講師(岩崎)
- 7. 8~9 長野県くるみの会20周年記念大会記念講演講師(岩崎)
- 8. 3 山口県乳幼児養育里親育成事業講師(岩崎)
- 9. 7 平成29年度奈良市被虐待児童対策地域協議会実務者研修会講師(岩崎)
- 9. 30~10. 1 第62回全国里親大会京都大会、平成29年度近畿地区里親研修会分科会講師(岩崎)
- 10. 19 平成29年度難波市民学習センターネットワーク型市民セミナー「家族・親子・絆~養子縁組里親の場合~」私たちはこうして親子になったPart II(山上)
- 10. 27 「『愛着障がい理解と介入ポイント』愛着形成療法から学ぶ、愛着とトラウマのケア」講演と対談「子ども家庭福祉支援をめぐる現状」講師(岩崎)。
- 11. 11 大阪府不妊専門相談センター公開講座「実子以外の選択肢『里親』を考える」講師(田邊)
- 12. 2~3 日本子ども虐待防止学会 第23回学術集会 ちば大会へ。パネルディスカッション「特別養子縁組制度の利用促進のあり方を考える」「養子縁組分野における官民連携の課題と展望」発表(岩崎)
- 12. 4 平成29年度第2回京都府児童相談所児童福祉司会議講師(和田)
- H30. 2. 3 平成29年度第3回徳島県里親会研修会「真実告知について」研修会(山上)
- 2. 4 山口県乳幼児養育里親育成事業「里親委託後の課題」講師(岩崎)
- 2. 7 長野県児童相談所広域支援センター主催「こどもの『つながり』を支えるための研修」講師(岩崎)
- 2. 8 長野県里親業務担当者対象の意見交換会「里親業務のためのスーパーバイズ」助言者(岩崎)
- 2. 12 平成29年度第4回ドレミファミリー交流会講師(岩崎)
- 2. 15 大阪曾根崎ライオンズクラブ、大阪天神橋ライオンズクラブ、大阪梅田中央ライオンズクラブ兄弟クラブ合同例会講師(山上)
- 2. 25 「里親推進のつどい~お芝居で知る里親~inはままつ」挨拶登壇(岩崎)
- 2. 27 社会福祉法人栄光園職員研修講師(岩崎)
- 2. 28 社会福祉法人栄光園専門職職員向け研修会講師(岩崎)
- 3. 6 大阪医科大学附属病院産婦人科医師・助産師らの自主勉強会講師(山上)
- 3. 14 東京都養育家庭(里親)担当者研修講師(岩崎)
- 3. 18 大分県里親研修講師(岩崎)
- 3. 19 福岡市里親ステップアップ研修講師(岩崎)

【パネル展示など】

- 4. 2 日本財団主催「よーしの日」イベントでブース出展
- 8. 5 NHKハートフォーラム「考えよう 新しい“家族”の形 ~里親・特別養子縁組はいま~」でブース出展

Ⅲ. 活動資金獲得のための活動

【えべっさん飴売り】

例年通り、下記のようにおこなった。飴の種類や仕入れ数を増やすため、仕入れ先の開拓については

模索中である。一昨年度より発注しているオリジナル飴を 2800 袋を作成、七福神キャンディとチョコボール、福豆、なにわづの飴を仕入れたが、平日のみの日程で雨模様だったこともあり、大幅に売れ残った。センター内で残り福セールをし、ふれあい読者に呼びかけたところ 2 月末に完売することができた。今年も 3 日間でのべ 74 名のボランティアさんにご協力いただいた。里親制度を周知するためのカードを新しく作り、オリジナル飴に封入している。袋の中に、愛の手運動の説明を書いたチラシを同封することで、広報活動もおこなっている。

日 時 1 月 9 日 (火) ~ 11 日 (木)
場 所 今宮えびす神社
収 益 538,824 円 (3 日間) ※残り福セールで 416,100 円
チャリティーボックスへの寄付 155,831 円

IV. 研修活動

【職員のための研修】

- H29. 5. 20 大阪里親連合会総会 (和田・藤目)
5. 28 大阪市里親会結成 60 周年記念大会 (岩崎・中島)
6. 27 日本財団主催「子が 15 歳以上の養子縁組家庭の生活実態調査」および「養子縁組における記録とアクセス支援に関する調査」の報告会及び意見交換会 (山上・中島)
7. 12-13 小舎制養育研究会理事会 (岩崎)
8. 5 NHKハートフォーラム「考えよう新しい“家族”の形～里親・特別養子縁組はいま～」(岩崎・山上・中島)
8. 10 はぐくみホーム課題別研修 (中合)
8. 10 第 10 回食育情報交換会 (おたべの会) (山上)
9. 30~10. 1 第 62 回全国里親大会京都大会、平成 29 年度近畿地区里親研修会 (山上、和田)
10. 12, 19, 26 平成 29 年度難波市民学習センターネットワーク型市民セミナー「家族・親子・絆～養子縁組里親の場合～」私たちはこうして親子になった Part II (岩崎・山上・和田)
10. 21 大阪府はぐくみホームシンポジウム (中合)
12. 6 民間あっせん機関の業務の質に関する評価基準の策定に係る調査研究会 (岩崎)
12. 7 大阪市児童福祉施設連盟平成 29 年度職員研究発表会 (和田)
- H30. 1. 30 I S S J 主催第 2 回家庭養護促進にむけた勉強会 (和田)
2. 10 大阪里親連合会勉強会とセラピー (和田)
2. 19 国際人権 NGO ヒューマン・ライツ・ウォッチ、日本財団主催「特別養子縁組のこれから～永遠の絆、どう保障する?～」(岩崎)
3. 17 大阪府・大阪市・堺市春季合同研修会 (田邊)

V. ホームページ関連

平成 11 年 3 月 18 日に大阪事務所のホームページを開設したが、12 月にホームページをリニューアルした。その際、インターネットで情報収集をする人が多いため、協会を通じて子どもを迎える流れや、「よくある質問」を充実させた。また、イベントの告知などもトップページに表示できるようにした。現在は平均すると 1 カ月 500 件ほどのアクセス数がある。「家庭養護促進協会」と入力してホームページにアクセスしている数が圧倒的に多いため、今後は協会のことを知らない人にもアプローチできるよう、「特別養子縁組」などのキーワードで検索上位に表示されることを目標にしたい。

<http://ainote-osaka.com>

平成 24 年 10 月に開設したフェイスブックページでは、愛の手記事へのリンク、日々の活動についての報告、イベント開催などの告知などを行っている。 <http://www.facebook.com/ainote.osaka>

ホームページを通じての今年度の書籍購入は 85 件 170 冊。会員入会は 0 件であった。

メール相談については、以下のとおり。開設からの累積受付件数は 1,465 件となった。メール相談を通じて来所につながった養子縁組希望者が 6 件、週末里親希望者が 5 件あった。

【地域別】

大阪府下	7
近畿圏内（大阪府を除く）	4
近畿圏外	20
海外	4
不明	4
合計	39

海外：ブラジル、アメリカ、カナダ

【相談者の年齢】

10代	0
20代	1
30代	4
40代以上	19
不明	15
合計	39

【相談内容】

養子を育てたい	23
里親一般について知りたい	0
縁組・入籍等の手続きが知りたい	0
週末里親について知りたい、やりたい	8
国際養子について知りたい	4
養子になりたい、里親を探してほしい	1
養育相談	0
その他	3
合計	39

*メール相談を通じて来所

養子縁組希望 6件

週末里親希望 5件

その他 0件

VI. 相談事業

【愛の手相談室】

相談の現状については以下のとおり。

「縁組後のアフターケア」は、思春期の子どもを持つ養親からの相談、養子自身からのルーツ探しなどの相談が見られる。

相談内容	件数	電話	来所・訪問	備考
養護相談	3	3	0	
養育相談	2	2	0	
縁組後のアフターケア	45	32	13	思春期、非行、ルーツ探し等
継続相談	0	0	0	
その他	14	14	0	
合計	64	51	13	

【APCC（思春期妊娠危機センター）】

相談件数はかなり減少傾向にある。（相談電話専用番号：06-6761-1115 月～金 10：00～17：00）

【受付件数】 オープン後からの累積受付件数は、6,618件

本年度の相談件数は、以下のとおり。

相談内容	件数	相談内容	件数
妊娠にまつわるもの	0	性病	0
人間関係の悩み	1	近親姦	0
自分の身体の悩み	3	How to Sex	1
マスターベーション	1	養子縁組	0
避妊法について	0	その他	3
同性愛	0	合計	9

Ⅶ. 「ふれあいの家」活動

「社会福祉法人そうそうの杜」と賃貸契約を結び、知的障害者の生活支援のためのグループホームとして貸与していたが、平成27年6月末で契約解除となった。日本財団からの助成金を受け、業者による清掃や電化製品の購入などをおこない、遠方に住む里親希望者が、対象児童との養育実習のために来阪する際の宿泊拠点として使用してもらうことにした。徳島県、島根県在住の里親希望者2組（198日）が滞在した。また、養親家庭が乳児院へ里帰りをするために1泊2日で利用したものもあった。

Ⅷ. 大阪市週末里親開拓事業

平成6年7月から、大阪市より委託された事業であったが、平成30年度に大阪市が里親子包括支援室を立ち上げ週末里親事業も行うことになったため、事業委託は今年度で終了した。

今年度は13名の児童の新規登録があり、うち2名が活動を開始し、1名は年度内に中止となった。昨年度未委託であった10名のうち3名が活動を開始した。未委託の17名は、大阪市里親子包括相談室へ引き継ぎ、探していく予定である。昨年と同様に、里親登録者の受入希望児童の年齢が小学校低学年以下や女兒に偏りがちであるため、小学生以上の男児は決まりにくい。また、近年発達の違いや多動傾向や発達障害がみられる子どもが希望児童として増えているが、里親として受け入れ希望はあまりなく、なかなか決まりにくい。

今年度は来所して申込書を提出した16家庭のうち15家庭が登録したが、5家庭が年度内に活動を開始した。29年度の後半には次年度以降は大阪市が週末里親事業をおこなうことを案内し、年度をまたぐと適切なタイミングでのフォローができなくなることから、マッチングを見合わせた。また、事業を引き継ぐために未委託の週末里親や、登録を保留にしていた申込み提出者に、登録の可否や現在の家族状況を尋ねるハガキを送った。

協会外の里親（制度開始以前から活動中の里親、施設職員、施設が独自に開拓した里親）は委託里親数67名、委託児童数71名となっている。

〈週末里親開拓〉

	29年度	累計
電話等問い合わせ件数	34	1595
申込書提出件数	16	534
登録件数	15	426
調査件数	5	203

〈平成29年度活動状況〉

里親数		委託数	解除数	30年度へ継続
	29年度中に新規委託	5	0	5
	28年度以前からの委託継続	51	2	49
	合計	56	2	54

児童数		登録	中止	委託数	解除数	30年度へ継続	未委託
	29年度中に新規登録	13	1	2	0	2	10
	28年度以前に未委託	10	0	3	0	3	7
	28年度以前からの委託継続			55	2	53	
	合計			60*	2	58*	17

*里親数と一致しないのは1名の里親に2名の児童がマッチングがされている里親が4組いるため

〈委託解除された子どもの理由内訳〉

委託解除理由	29年度	累計	委託解除理由	29年度	累計
実親引き取り	1	20	施設措置変更	0	5
養子里親委託	0	17	府へケース移管	0	4
養育里親委託	1	13	堺市へケース移管	0	1
里親の都合	0	18	その他	0	2
里親子関係悪化	0	35	合計	2	147
施設措置解除	0	28			

【週末里親研修会・懇談会】

(1)9月16日(土) 10:00~12:00 (対象:里親、施設職員)

前期は「研修会」の形で実施した。佛教大学社会福祉学部講師長瀬正子氏に、施設出身者と多く関わって来られた経験から、施設で生活する子どもたちの課題や、施設を退所してからの子どもはどのように生活し、どのようなことで躓くのか等、現状を語っていただいた。週末里親は社会的養護の子どもが退所後に陥りやすいトラブルや課題への理解が深まり、今後週末里親としてできることを考えるきっかけになったという意見が多数あった。週末里親は「子どものために何かしなければ」と頑張ってしまうがちであるが、長瀬氏からの「まずは週末里親さん自身を大切に」というメッセージにより、安心したという声も聞かれた。

大阪市の週末里親向けの研修ではあるが、大阪府の週末里親にも案内し、参加してもらった。

参加数 市里親 16 家庭 20 名、府里親 4 家庭 4 名、施設職員 12 カ所 17 名

(2)4月21日(土) 13:30~16:00 (対象:里親、施設職員)

後期の懇談会は3月末締めで謝礼金を配付する目的も兼ね、4月に実施している。平成30年度から大阪市里親子包括支援室が週末里親事業をおこなうため、大阪市こども相談センターからの説明もされた。質疑応答では、今後の週末里親の支援はどうなっていくのか、協会との関係はどうなるのか等の質問があった。その後は例年通り、「懇談会」スタイルで、小学3年生まで、小4~小6、小6~中2、中3~の子どもの里親の、4グループに分かれ、話し合いをおこなった。活動年数は様々であるため、ベテランの里親がアドバイスする場面があったり、それぞれの経験を共有したりするなど、活発な意見交換がなされた。懇談会終了後、部屋を開放していたため、週末里親同士、また週末里親と施設職員等、個別に話す様子も見られ、貴重な時間を作ることができた。協会での週末里親事業としては最後の懇談会となったため、それを惜しむ声も多くあった。

参加数 里親 20 家庭 27 名、施設職員 16 カ所 21 名、大阪市こども相談センター3名

【週末里親制度説明会】

3月11日(土) 10:00~14:00 会場:大念仏社会事業団

今回は大阪市児童福祉施設連盟里親支援委員会と共催し、『週末里親ってなあに?』と題して説明会を開催した。今回は、開催時間中は出入り自由とし、プログラムは午前と午後に1度ずつ、個別相談会は随時おこなった。児童養護施設や乳児院を紹介した映像、週末里親からの体験談では、週末里親活動のイメージが湧いたようであった。会場となった大念仏社会事業団は大念仏乳児院のある建物であり、なかなか普段は足を踏み入れることのない乳児院の見学をできたことも参加者からは好評であった。また、大念仏乳児院より昼食(おにぎりと豚汁)の提供があり、週末里親や施設職員と一緒に食べるランチタイムを設けたことで、ざっくばらんに週末里親制度について話すことができた。4月より大阪市里親子包括支援室が週末里親事業を実施するため、週末里親制度に登録手続きを進める場合は4月以降の案内となってしまうが、大阪市在住の連絡希望者は2名いた。

参加者 16 組 26 名

IX. 大阪市よりのその他の委託事業

【大阪市里親制度普及促進事業】

24年度より、同事業が公募型となり、毎年の応募、審査を経て、委託事業者として選定されていたが、27年度より、「愛の手運動」にまつわる部分の事業については、公募型ではなく、協会を指定事業者として委託できることとなった。事業には、愛の手運動による里親開拓、養親希望者への研修、委託里親家庭等への訪問指導、全国の児童相談所里親担当者連絡会の企画などが含まれる。

X. 大阪府里親支援機関業務

20年10月に大阪府より里親支援機関としての業務委託を受け、里親制度の普及啓発、里親研修、里親委託推進のための相互交流、施設入所児童を対象とする週末里親事業の実施等を行ってきた。週末里親事業については従来通りであるが、28年度6月より委託業務内容に大きな変更があり、養子里親の支援と週末里親事業を中心に行うことになった。事業内容としては、以下のとおりである。

【養子里親支援機関事業】

(1) 養子里親の普及啓発に係る業務

- ・不妊治療中の夫婦を対象にしたリーフレットを不妊治療クリニックや不妊治療助成金の申請窓口などに配布した（20,000部）。
- ・6月15日 耳原総合病院異文化コミュニケーションカンファレンスで講演（山上）
- ・8月5日 13:30~16:15 NHKハートフォーラム「考えよう 新しい“家族”の形 ~里親・特別養子縁組はいま~」でブース出展
- ・8月6日 13:30~16:30 特別養子縁組啓発プログラム「親子になる！」
会場：三井住友海上・大阪淀屋橋ビル 参加：156名 スタッフ：34名
三井住友海上火災保険株式会社より会場を提供していただき、養子として育った女優のサヘル・ローズさんを招き、自らの体験や養母への思いなどを語っていただいた。参加者からは多くの感動と学びと勇気を得た、と大変好評であった。
- ・10月6日 ふたば里親会里親制度広報番組収録のためFMちゃお（山上）
- ・10月14日 平成29年里親シンポジウム地域集会 in 東大阪「家庭のぬくもりを子どもたちに」にスタッフとして参加（和田）
- ・10月29日 はぐくみRUNフェスタお手伝い（中島・田邊）
- ・11月11日 大阪府不妊専門相談センター ミニ公開講座講師（田邊）
- ・11月23日 大阪府宅地建物取引業協会泉州支部主催の第34回泉州いい街フェスタ（岸和田市浪切ホール）に里親広報ブース出展（全員）。里親制度の広報のためのチラシを600枚配布した。
- ・3月6日 大阪医科大学付属病院産婦人科医師・助産師らの自主勉強会講師（山上）

(2) 養子里親認定の手続き

- ・認定希望者の問い合わせ対応や、ガイダンスを協会で担当した。
問い合わせ対応 55件
ガイダンスの実施 35件（うち26件が年度内に登録手続き開始）

(3) 研修の実施

- ・認定前研修（養親講座）6月（8組）、9月（4組）、12月（5組）、3月（6組）
- ・認定前研修（追加分・子どもに起こりやすい事故の予防と応急手当）28組
- ・施設実習 20組
- ・更新研修（養親ゼミナールの日にあわせて）7月22日（2組）、10月21日（1組）
- ・課題別研修（同上）5月20日（5組）、7月22日（1組）、10月21日（3組）、3月17日（1組）

(4) 要保護児童の委託先検討

- ・随時

(5) 子ども家庭センターとの連絡調整

- ・毎月2回、連絡会議を実施

(6) 里親家庭及び委託児童への支援

- ・初回面会后、実習中は施設への訪問や外出や外泊時の家庭訪問、また委託後は電話やメールでの相談対応、また家庭訪問を随時実施

(7) 里親委託等推進委員会調整委員会・里親委託等推進合同連絡会への委員派遣

- ・里親委託等推進委員会調整委員会 2月15日
- ・里親委託等推進合同連絡会 5月19日、10月30日、3月6日

【週末里親事業】

今年度は13組の週末里親子が成立しており（登録里親、愛の手によるマッチングは省く）、施設で生活する子どもにとって、貴重な家庭生活体験の場になっている。

①活動実績

- ・施設入所児童家庭生活体験事業

32施設 児童96名 里親82組（うち登録里親13組）

延べ回数 752回 延べ日数 1650日（※2泊3日事業の活動含む）

- ・週末里親事業

3施設 児童3名 里親3組

延べ回数 12回 延べ日数 31日

②2泊3日里親事業

長期休暇中、家庭に帰れない子どもを対象に、待機となっている週末里親希望者の中から協力者を募り、2泊3日の家庭生活を体験することを目的として実施。

	候補児童	マッチング数	うち週末里親へ移行
夏季	16名（15組）	週末8組/はぐくみ1組	週末4組
冬季	19名（18組）	週末7組	週末3組

③平成29年度新規週末里親子

協会マッチングケース 13組 児童数15名

愛の手マッチングケース 1組 児童数1名

はぐくみマッチングケース 8組 児童数19名（登録予定者含む）

はぐくみからの移行ケース 1組 児童数1名

④大阪府週末里親懇談会

週末里親に集まってもらい、活動の様子や日頃感じている悩みについて、情報や意見を交換した。

12月9日実施 週末里親 7組13名 施設職員 5名

⑤週末里親研修

週末里親活動希望者に対し、社会的養護を必要とする子どもを理解してもらい、子どもが生活している施設の実情を知ってもらうことが目的。

日時	10月7日（高鷲学園）
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「施設で暮らす子どもたちの理解」 ・「週末里親と関わりを持っている子どもたちについて」 講師：若林 康一氏 児童養護施設高鷲学園 里親支援専門相談員 <ul style="list-style-type: none"> ・施設見学 ・週末里親体験談
参加者	12組17名

⑥週末里親相談対応として地域相談会に参加

センター名	日 時	場所および内容
岸和田	7月31日(月) 10:00~16:00	ららぽーと和泉 ・里親制度啓発イベント・子ども向けレクリエーション・個別相談会

⑦会議への参加

里親委託等推進調整委員会 2月15日
里親委託等推進合同連絡会 5月19日 10月30日 3月6日

X I. 生活資金・奨学資金貸付制度

平成25年度に21歳男性(養子)が自立支援フリースクールへ通う学費1年分を、教育支援資金として316,800円貸し付けた。男性は就労していたが退職し、返済が滞った時期もあったが、新たに就職をし、29年度は5,280円の返済がなされ、返済残高は163,680円である。新たな貸し付けはなかった。

X II. その他の活動

◆新聞社等マスコミからの取材に対応した。

- H29.6.5 朝日新聞山田記者
8.14 フジテレビジョン守田氏
9.6 毎日新聞山本記者(「あたらしいふれあい」500号について)
9.20 毎日新聞神戸支局松本記者
10.24 日本テレビ報道局ニュースセンター「真相報道バンキシャ!」ディレクター山口氏
H30.1.16 毎日新聞山本記者

◆協会活動や里親制度等について知るために以下の人々の訪問があった。

- H29.4.4 大阪大学院生の宍戸さん(協会の活動について)
4.17 高知県立大学地域教育研究センター野辺氏(特別養子の子どものインタビュー調査)
4.24 NHK厚生文化事業団チーフディレクター猪瀬氏(養子縁組啓発イベントの打ち合わせ)
8.14 弁護士岩佐氏他弁護士4名(民間団体における養子縁組にまつわる仕事について)
9.21 白石氏(ボランティア活動について)
9.25 垣内氏他1名(社交ダンスの普及事業の相談)
9.29 グミの会安藤氏(協会の活動について)
10.11 そうそうの杜荒川氏他4名(協会の活動について)
11.15 立命館大学4回生森田さん(卒論指導)
12.1 講談社「BE-LOVE」岩間編集長、石井氏、漫画家慎結氏、他1名(協会の活動について)
12.12 大阪大谷大学4回生城野さん(卒論情報収集)
H30.3.30 一般財団法人H₂Oサンタの中田氏と大阪市こども相談センター宮本氏(イベント打ち合わせ)

◆大阪市こども相談センター主催の出前相談会に相談員として協力した。

- H29.5.13 もりのみやキューズモール(山上)
6.25 イオンモール鶴見緑地(田邊)
8.17 あべのハルカス近鉄本店(和田)
9.17 子どもデザイン教室(山上・中島)
11.5 イオン大阪ドームシティ(山上)
12.14 あべのハルカス近鉄本店(田邊・中合)

◆以下の企業や団体が愛の手運動のためにという趣旨でイベント等を企画し、その収益を活動資金等として寄贈いただいた。いずれの場合も、単にご寄付を受けたということだけではなく、愛の手運動の

PR活動としての効果もあり、感謝している。

- *グローバルアシスト神谷理事より玩具多数
- *愛の手紙上チャリティーオークション (1,504,412円)
- *一般社団法人大阪府宅地建物取引業協会泉州支部 (167,571円)
- *一般社団法人大阪府宅地建物取引業協会青鳩会チャリティーボウリング大会3月に開催
(受贈は4月30年度として35,340円)
- *一般社団法人大阪府宅地建物取引業協会チャリティーゴルフ大会 (同、169,000円)
- *一般社団法人大阪府宅地建物取引業協会チャリティーボウリング大会 (同、35,975円)
- *向井珍味堂 (15,671円)
- *第一工芸株式会社 (37,452円)
- *東大谷高校生徒会 (10,000円)
- *東和総合サービス東京本社 (13,890円)
- *たま道の駅 (2,790円)

◆府子ども家庭センター里親担当者会議に出席し、大阪府子ども家庭センター、大阪市こども相談センター、堺市子ども相談所との連絡調整に努めた。

◆27年度より大阪市里親認定前研修事業は他機関が受託したが、引き続き、「認定前研修Ⅰ」の講師は岩崎が引き受けた (年4回)。

◆「特別養子を中心とした養子制度の在り方に関する研究会」、「民間あつせん機関第三者評価にかかるガイドライン (案) 検討委員会等、計11回出席 (岩崎)。

◆9月23日 大阪府・大阪市・堺市セレッソ協同里親制度普及啓発イベントでうちわ配布 (於: キンチョースタジアム) (和田)。

◆28年度、日本財団の助成を受け、「真実告知にまつわる調査」を行った。10年ごとに真実告知に対する意識や実際について、養親向けの調査をおこなっており、今回が3回目となる。数字だけではなく、具体的な事例を自由記述してもらったところ、多くの事例が集まり、報告集『153のこたえと41のものがたり』を作成した。養親には無料配布している。

◆畿央大学古川教授のご支援により、発達障害のあるかもしれない中高生の養子を育てている養親たちを6人のグループにし、ペアレントトレーニングを実施した。12回 (うち2回は個別ふりかえり) 実施。